



みんなちがってみんないい

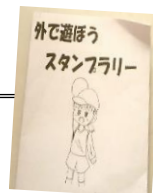
今年度の本校の重点取組事項のひとつに「自他を大切にし、自己肯定感を高める」があります。自他を大切にするためには、まずは、自分や他者を「知る」ということが必要です。

5年生では、今、福祉の学習に取り組んでいます。今回は、四つ葉会の方から手話を通してのコミュニケーションや耳が聞こえない方の生活について教わりました。私たちが何も考えずに行っていることにもいろんな工夫をされていることに子どもたちは驚いていました。「この時間をきっかけに手話を覚えようと思ってくれる児童がいたら嬉しい」と会の方はおっしゃっていました。私たちは、ひとりひとり、みんな違います。外見も性格も、好きなことや苦手なことも。いろんな人がいるということを知り、相手の立場や思いを理解しようとする子どもが育ってくれたらと願っています。



1年生を迎える会

今年度は生活運営委員会の企画により、縦割り班で校内スタンプラリーを行いました。校内のポイントを回り、様々なミッションをこなしていきます。ボウリングや福笑いのコーナーでは、1年生が大活躍しました。また、上級生が協力して作った王冠とメダルが1年生ひとりひとりに手渡されました。全校が優しい笑顔に包まれたひとときでした。



体力向上をめざして

子どもたちの体力向上については、各家庭においても「おうちで運動」等にご協力をいただいているところです。体育の時間や朝の時間を使って行っている柔軟運動は、映像を見ながら体を動かすことができるので、1年生も楽しみながら取り組んでいます。コロナ禍で制限があった水泳指導も例年通り行います。夏休みには、3,4年生の希望者を対象とした「初心者水泳教室」を2日間実施する予定です。先週は、体育委員会が「外遊びスタンプラリー」を企画するなど外遊びの奨励活動を行いました。体力をつけることが、心身の成長にも大きく関わってきます。今後も工夫した活動で体力向上をめざします。



体育の時間、映像を見ながら柔軟運動に取り組む1年生